（第二版）（京鐘郵便）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年十月二十七日　臺灣日日新報　（火曜日）　第一万三千百四十二號　（一）

臺灣新民報 夕刊

十月二十六日
夕刊各部一個定價二錢
發行所 臺北市表町四丁目番地臺灣新民報社
臺中市旭町一丁目（電話七八五）臺中支局
臺南市錦町（電話三〇〇）臺南支局
花蓮港街入船町（電話一〇）花蓮港支局
大阪市西區江戸堀南通二丁目（電話土佐堀一〇）大阪支局
東京市芝區愛宕下町一丁目（電話銀座一〇）東京支局

英米を初めとし 海軍力を擴充

兩條約失效を前に

【東京廿六日發】ワシントン會議條約と倫敦會議條約とを目前に控へ、兩條約の效力を國際的に無條約狀態に置かんとする英米兩國は、それぞれ海軍力の擴充に乘出すことゝなつた。

英國　最近は特に地中海艦隊の增强を計つてゐるが、又海軍根據地としてシンガポールの强化に力を注ぎ、ニューヂランド艦隊等をも著々强化し、更にシンガポール軍港を大本營とする東洋艦隊をも增强しつゝある。

米國　世界第一海軍を目標に太平洋に主力を注ぎつゝあり、既に數年以前に着手した海軍の新計畫の成立に就いては、英國と同樣に軍備擴張に對しては國民の反對が强いが、ルーズベルト大統領は國防の强化を强調し、議會の協賛を求めてゐる。

ソ聯　現在ウラヂオストックに於ける極東艦隊及び數隻の潛水艦を有するが、更に極東艦隊の增强を計畫してゐるといはれる。

支那　最近支那は空軍を歐米兩國の指導で飛躍的に擴張しつゝあり、新しく空軍指導の爲に自然に植付けらるゝ歐米列國の空軍における空軍勢力は特に有力の場合は帝國として重要考慮を要するものである

海軍根據地をグアム島に作れ

ハツバード氏が主張

【マニラ卅日特電】卅日當地で發表された華府七日發急電に依れば、海軍長官スワンソン氏が米國は十二月卅一日附で經費を

川越、張兩氏が六回目の會談

けふ外交部長官舍で

【南京二十六日發】川越、張兩外交部長の第六次會談は廿六日午後二時より外交部長官舍に於て擧行、引續き晩餐會に移つて午後十時頃に散會したが、兩氏の會談は北支防共問題を中心に國交調整に關する交涉を繼續するに決し川越大使は二十六日午前中に南京を發し上海に向つた

廣田内閣に信頼 協力を惜まぬ

西下の陸相車中談

【大阪二十五日發】寺内陸相は二十五日朝目醒時、宮城を遙拜し、次で同地に入り、更に小田原に赴き、その地で一泊し、二十六日午前十時半大阪着、直ちに中之島中央公會堂に於ける陸軍記念日の講演を了へ、午後一時半大阪發急行で歸京の途についた。

◇

【發車二十六日發】寺内陸相は、發車に當り、見送りの新聞記者團に對し、次の如く語つた

◇軍部が行政機構改革問題につき無相を兼任するなら國防獨立會議機關を年内に實現させる覺悟だと傳へられる點に關しては、自分は別に何も聞いてゐない、議會制にこれを是非實現せねばならぬといふつもりは持つてゐない、總理の誠意とその實現に信頼し出來ただけ我々の希望が實現されることを望んでゐるのだ

◇併し現下の現狀に照して必要なものと信じてゐる、從つて實現せねばならぬ、國防國家の合併及び海外發展の設備と無關係に實現した所謂官の獨占は時代錯誤も甚しく、ハワイ經由マニラへの中央線、濠洲經由の南方線とテクニカル經由の北方線との三線の航空路に依り東洋方面への進出に力を注ぎ乍らこれらは單純上にも重大すべきである事は勿論である、尙ハワイ航路復活にはなほ幾多の困難があり、更にグアム島の防備擴充の問題まで續出してゐる關係である

◇米國制海の問題については、海軍當局者も本年末には整ふ事となつてゐる、また航空母艦エセックスの就役及び數隻の驅逐艦があり、また巡洋艦ヒューストンの改裝も終つてゐる、更に日英、シンガポール、濠洲艦隊、ニュージランド艦隊等をも著々强化し盛り更にシンガポール軍港を大本營とする事となつてゐる、また航空、セイロン及濠洲の防備强化にも力を盡し、航空方面でも英本國より日英、シンガポール、濠洲に至る航空路は既に完成しシンガポールより香港に至る航空路は一海方面へ延びんとして

◇英米制海の問題については海軍當局者も本年末には整ふ事となつてゐる、また航空、セイロン及濠洲の防備强化にも力を盡し、航空方面でも英本國より日英、シンガポール、濠洲に至る航空路は既に完成しシンガポールより香港に至る航空路は一海方面へ延びんとして

◇米國制海の問題については海軍當局者も本年末には整ふ事となつてゐる、また航空、セイロン及濠洲の防備强化にも力を盡し、航空方面でも英本國より日英、シンガポール、濠洲に至る航空路は既に完成しシンガポールより香港に至る航空路は一海方面へ延びんとして

◇英國　最近は特に地中海艦隊の增强を計つてゐるが、又海軍根據地としてシンガポール軍港を大本營とする東洋艦隊をも著々强化し盛り更にシンガポール軍港を大本營とする事となつてゐる、また航空、セイロン及濠洲の防備强化にも力を盡し、航空方面でも英本國より日英、シンガポール、濠洲に至る航空路は既に完成しシンガポールより香港に至る航空路は一海方面へ延びんとして

◇ソ聯　現在ウラヂオストックに於ける極東艦隊及び數隻の潛水艦を有するが、更に極東艦隊の增强を計畫してゐるといはれる。

◇支那　最近支那は空軍を歐米兩國の指導で飛躍的に擴張しつゝあり、新しく空軍指導の爲に自然に植付けらるゝ歐米列國の空軍における空軍勢力は特に有力の場合は帝國として重要考慮を要するものである

補助艦艇建造の急務を力説

米海軍長官が

【ワシントン二十五日發聯】ワシントン海軍長官ノックスは二十五日ワシントン海軍記念日に當り、海軍の現狀に關する聲明を發表し、その中で米國は海軍に關する限り、現在の國防は十分であるが、之に對する國際情勢は決して樂觀を許さないとし、米國は從來比較的海軍軍備に關心を拂はなかつたが、米國の海軍は國防上絶對に必要であり、米國の安全は海軍の强大にある

軍艦愛宕に召され 聖上、けふ神戸御發

江田島に向はせらる

光榮に輝く江田島

奉迎の諸準備全く成り 赤誠お待ち申し上ぐ

【神戸二十六日發】神戸港十八番埠頭に艦列の御召艦比叡に國西行幸御一夜を明かさせられた　聖上陛下には二十六日早朝　軍艦愛宕に御移乗、海軍兵學校生徒のため海路江田島に向はせられた

この朝　陛下には海軍御軍装に　侍従武官長　鈴木貫太郎大將以下を従へさせられ御召艦比叡御發　天皇旗を檣頭に掲げた比叡へしづかに十三浬の速力で航行　江田島に向はせられた　同夜は宮島港外に碇泊

【江田島二十六日發】六年振りに明日再度の行幸を拝する江田島海軍兵學校では御内儀を始めとし去る五日より職員一同一致協力を出す事に心配になつて御生に留意し行幸を仰ぐ大講堂教育参考館御休所に充てられる岳松御殿として御繕も御深き御配慮の手入れ、十二萬坪の清掃を急ぐなど光榮の日を御待ち申上げてゐたが今や諸準備全く成り御生は愈〻止めをさせに御待ち申上げてゐたが今や諸待ち侘び、一方江田島村側でもわてから村内道路の改修、防疫への協力等涙ぐましい活動を續け輝く行幸に備へて　聖上の御親閲を賜はる在郷軍人消防組は御繁忙の際　聖閲に關係それ〴〵部署について居る通信方面を擔當する江田島、廣島間通信は明治二十一年八月　聖上御巡幸の際臨時架設して二回線としまた江田島間にも臨時線を設して殺到する通信連絡に完全を期する等全島擧つて御迎の準備は全く整ひた明れの行幸を御待ち申上げるのみとなつた　御この度の行幸に際し天皇　聖旨を奉じて海内教育参考館は本年三月十九日工事に着手したもの、故東郷元帥の遺品、故東郷元帥の戦時の御書翰、二龍砲台に於ける名誉の戦死者の遺品、海軍に關する古今東西の國寶的資料約一萬點並に廣島、呉兩市の寄贈品等を陳列、平戦の學に浴するはずである

若き提督の發祥地 常春の島

仙境、江田島の横顔

【江田島二十六日發】若き提督の發祥地江田島は明治二十一年八月　聖上御巡幸の際、海軍兵學校が移されて以來、一萬島はなや帝國海軍のバレステナとして數多の海の子を育てゝ來つた、御この度　聖上陛下の行幸を仰ぐに當り、島民一致、總出の奉迎をなすことは勿論であるが、本島は周囲八里、氣候溫暖で春の國とでもいひたい仙境である、元の名は衣笠、又四千餘の島民は能美島と相接してゐるので能美島を含めて江田島とも呼ぶ、一説には神功皇后が三韓征伐の御歸途、御船を繋がれたのが今の御手洗港であるといふ、港内の御船島は能美島にあり

御殿女中（83）

（第十回）

邦枝完二作
神保朋世画

春光（十）

「ど、どうか自殺為。この體をお殺めなすつて下さいまし。——決して、恨して仰せに背くやうなことはいたしません。體締めつけられて、骨が折れてしまやうな氣がいたします。」

御殿の庭の池の前に荒莚で縛りつけられたまま、身動きをしてゐる庄吉の目の前には、森山が怒ろしい眼を光らせたまま、庄吉の首筋を如何にも心地よさうに見ずつてゐた。

「ふゝゝ、驚いたか。」

「はい。どうかお殺めなすつて下さいまし。」

「殺めて取らせるが、しかし、拙者の今申したことを、必ず實行いたすであらうな。」

「と仰しやいますのは。……」

「だ、阿呆め。體は體のお萬の面前で、一匹とは食はぬとの繋がづかしを申すのだ。」

「そ、それはつかりは。……」

「いやだといふか。」

「いゝえ、さうではございませんが、只今手前の口から左樣なことを申しましたら、それこそお體樣は、どのやうなことになるか知れたものでございませぬ。」

「扈從め、いらぬ心配は無用にしろ。貴樣は當方の腕にあるのぢや。——しかし暇ぐまでお前が盛情を感じるに於ては、拙者にも存念があるかといふか。」

「——。」

「その方一人の體だけではない。お萬をも同時に締めの場にかけてくれるぞ。」

「な、なんと仰しやいまして。」

「ただその方の心ひとつに因るのぢや。體と考慮して返答せよ。」

「扈從め。——」

「そ、うるさい。如何に町人の事とも、斯くの如き大事の際に、未練がましき言葉は見苦しいぞ。」

「と仰しやいましても、お體樣に、變死かしを申しますことたとは……。」

「こいつ、いよいよ申さぬ氣と見ゆるな。それならば拙者にも存念がある。もはや、何をくまくまと申すを云ふ要もやう、もはや、何をこれそもち話るお萬をも、拙者の手にかけて、ぬつぶかい眼に遭はせ

信廣田內閣遂行國策
中國問題必能解決
寺內陸相車中時事縱談

靜岡二十六日電。西下寺內陸相。車中有語如左。或傳想理就行政機構改革問題。有無任相如東任。則使國策綜合企畫機關。年內實現之意向。余別無所聞。但議會前却無強之實現。唯信相總理誠意。及其措置。而希我等所望。得以實現耳。

▲觀之刻下現狀。有所必要。務望行之。信廣田內閣。能爲行之。故不作廣田內閣。不得而行則宣何爲之想。打倒現內閣。而何內閣成之謂耶。要之。問題早解決使國民安心。爲當務也云々。

▲余今後欲專念國防之事。陸軍豫算。縱見求削減。陸軍有陸軍之計畫之方針。不便只點次減省之言。今非見求削減。用何對付。則不便言。

▲中國問題。似有種々議論。余信必解決。否則已而退案。

▲議會制度問題。專門家似有種々研究。陸軍亦有腹案。其具體案。今無意直提出之。

▲要之。雖有種々言論。然關行政機構改革。具他國策遂行。余信賴廣田內閣。喜與之協力也云々。

行政機構議會制度
五相會議如何措置
政黨及政界關係重大

東京二十五日電。政府去世頗注視云。二十三日閣議。決定行政機構。議會制度。加以根本的工作。斷行改革。然似未決何等腹案。及今後審議方針。唯因衆議院要望。設置議院制度調查會。如更自獨自立場。加以根本的檢討。則開議會立法權之行使。斷行大改革。斷行政部。與立法部。截然區別。此際議會構成。改爲誠能代表制。二者必擇其一。當不拘獨逸法範圍內改革。則不能縮小議會之權能。而將兩部截然區別之。從以選舉制度之改革。爲中心題目。而協考慮制限。選舉制度。或喊能代表制度。爲有實現社會之方法。究此等改革案於我國政治運用上。有大變化。勢必於政黨方面多所刺戟。政界大起波瀾。地方制度。及議會制度改革所關五相會議。如何措置。

不穩密議中
十一名檢擧

東京二十六日電。二十五日午後八時頃。有淀橋區角筈喫茶店大仙一階特別室。密議中人民文庫同人長代理。其他地方官民等多數來賓。暨西崎校長。及全部職員。生徒。畢業生。父兄等列席到。齊唱國歌。西崎校長奉讀勅語。並述式辭。吉浦視學。代讀知事訓示。樋口宜蘭街長。並畢業生在校生兩總代等。各述祝辭。後由校長。對勤續十年間之猿渡教頭及本村教諭兩氏。贈皇校友會之感謝狀。並記念品。同十一時二十分閉式。續在運動場內園遊會場。開撲天店。至零時半許散會。而該校農具展覽會場及庭球比賽大會。

寺內陸相西下
爲陪觀觀艦式
竝檢閱大阪小倉造兵廠等

大磯二十五日電。寺內陸相。二十五日朝。驅自動車出官邸。入大磯本邸。更到小田原。視察新築傷兵院而後西下。豫定小倉造兵廠。山口步兵第四十二聯隊大阪造兵廠檢閱後。二十九日。陪觀觀艦式。三十日歸京云。

臺灣現在及將來
產業經濟界考察（上）
田端局長實業大會談

▲前略　今次觀察臺灣經濟界。自前年來。順調發展。或傳想理就行政機構改革問題。有無任相如東任。則使國策綜合企畫機關。年內實現之意向。余別無所聞。但議會前却無強之實現。唯信相總理誠意。及其措置。而希我等所望。得以實現耳。

▲觀之刻下現狀。有所必要。務望行之。信廣田內閣。能爲行之。故不作廣田內閣。不得而行則宣何爲之想。打倒現內閣。而何內閣成之謂耶。要之。問題早解決使國民安心。爲當務也云々。

▲余今後欲專念國防之事。陸軍豫算。縱見求削減。陸軍有陸軍之計畫之方針。不便只點次減省之言。今非見求削減。用何對付。則不便言。

▲中國問題。似有種々議論。余信必解決。否則已而退案。

▲議會制度問題。專門家似有種々研究。陸軍亦有腹案。其具體案。今無意直提出之。

▲要之。雖有種々言論。然關行政機構改革。具他國策遂行。余信賴廣田內閣。喜與之協力也云々。

森岡長官
初巡臺南

森岡總務長官。於臺南地方初巡中。去二十五日午前八時半。發自東星旅館。落臺南市役所。後見州廳內各課長。及各任官待遇以上諸官員。於市內各官衙長府評。前州協。市台南員等。重要官民後。由川村知事。報告州治概況。續由知事。總督府。及師範學校。法院。如入本年。砂糖增產。米價增產。其他島內重要物產之好況等。云盡乎好轉。市役所。醫院。高工等。巡訪問第二聯隊。午後四時許。在州廳。集州職員一同。開茶話會。午後五時半。歸東星旅館。於是巡視告畢。搭乘是日午後十時二十八分。發自臺南驛之列車。受官民多數送行歸北。

森岡長官
初巡臺南

森岡總務長官。於臺南地方初巡中。去二十五日午前八時半。發自東星旅館。

宜蘭農林十周年
開校記念行事詳誌
州下官民濟々參列擧式

宜蘭農林學校十周年記念。觀衆終日擁到。極皇盛況裏之。昨二十六日。午前十時。在社前禮拜後。八時許。

參拜神社
竝擧獻木式

前報。宜蘭農校十周年記念日。去二十五日朝。于來擧式。全校職員生徒等。先詣宜蘭神社參拜。午前八時許。在社前禮拜後。續擧落羽松獻木式云。

宜蘭農林十周年
開校記念行事詳誌
州下官民濟々參列擧式

宜蘭農林學校十周年記念。觀衆終日擁到。極皇盛況裏之。昨二十六日。午前十時。在社前禮拜後。續擧落羽松獻木式云。

臺灣現在及將來
產業經濟界考察（上）
田端局長實業大會談

▲前略　今次觀察臺灣經濟界。自前年來。順調發展。或傳想理就行政機構改革問題。有無任相如東任。則使國策綜合企畫機關。年內實現之意向。余別無所聞。但議會前却無強之實現。唯信相總理誠意。及其措置。而希我等所望。得以實現耳。

▲觀之刻下現狀。有所必要。務望行之。信廣田內閣。能爲行之。故不作廣田內閣。不得而行則宣何爲之想。打倒現內閣。而何內閣成之謂耶。要之。問題早解決使國民安心。爲當務也云々。

▲余今後欲專念國防之事。陸軍豫算。縱見求削減。陸軍有陸軍之計畫之方針。不便只點次減省之言。今非見求削減。用何對付。則不便言。

▲中國問題。似有種々議論。余信必解決。否則已而退案。

▲議會制度問題。專門家似有種々研究。陸軍亦有腹案。其具體案。今無意直提出之。

▲要之。雖有種々言論。然關行政機構改革。具他國策遂行。余信賴廣田內閣。喜與之協力也云々。

行政機構議會制度
五相會議如何措置
政黨及政界關係重大

東京二十五日電。政府去世頗注視云。二十三日閣議。決定行政機構。議會制度。加以根本的工作。斷行改革。然似未決何等腹案。及今後審議方針。唯因衆議院要望。設置議院制度調查會。如更自獨自立場。加以根本的檢討。則開議會立法權之行使。斷行大改革。斷行政部。與立法部。截然區別。此際議會構成。改爲誠能代表制。二者必擇其一。當不拘獨逸法範圍內改革。則不能縮小議會之權能。而將兩部截然區別之。從以選舉制度之改革。爲中心題目。而協考慮制限。選舉制度。或喊能代表制度。爲有實現社會之方法。究此等改革案於我國政治運用上。有大變化。勢必於政黨方面多所刺戟。政界大起波瀾。地方制度。及議會制度改革所關五相會議。如何措置。

不穩密議中
十一名檢擧

東京二十六日電。二十五日午後八時頃。有淀橋區角筈喫茶店大仙一階特別室。密議中人民文庫同人長代理。其他地方官民等多數來賓。暨西崎校長。及全部職員。生徒。畢業生。父兄等列席到。齊唱國歌。西崎校長奉讀勅語。並述式辭。吉浦視學。代讀知事訓示。樋口宜蘭街長。並畢業生在校生兩總代等。各述祝辭。後由校長。對勤續十年間之猿渡教頭及本村教諭兩氏。贈皇校友會之感謝狀。並記念品。同十一時二十分閉式。續在運動場內園遊會場。開撲天店。至零時半許散會。而該校農具展覽會場及庭球比賽大會。

寺內陸相西下
爲陪觀觀艦式
竝檢閱大阪小倉造兵廠等

大磯二十五日電。寺內陸相。二十五日朝。驅自動車出官邸。入大磯本邸。更到小田原。視察新築傷兵院而後西下。豫定小倉造兵廠。山口步兵第四十二聯隊大阪造兵廠檢閱後。二十九日。陪觀觀艦式。三十日歸京云。

馬公防衛團
綜合訓練

馬公防衛團。去二十四日午後一時。集全團員於街公會堂。實施綜合訓練。先出三浦團長。一場訓示後。乃依想定各就所定部署。由木幡要部參謀長及久保防備隊司令。荒木。小池兩參謀等。諸指導官指導。訓練至四時許終了。成績佳良云。

三部振發會
三友炭礦爆發
卽死七名

東石郡鹿草庄農會。及同庄中寮。施震寮。三部落月二十五日。各樂振興會發會式。由會長張丕郎鳳儀兩氏。東招關係人士列式。

員彰兩郡鳳梨問題
委員集合擧陳情者
云萬一不能貫徹改種他物

既報現時鳳梨動世人視聽之鳳梨問題。高雄州統籌農場組長陳定國氏。醵款全島各地生產者。擬能一致大團結。如既報員林及彰化兩郡下鳳梨問題。委員約二十名。於去二十五日午後三時。集於員林區蓮霧出荷組合事務所內。開緊急會。有員林郡勸務課高等特務列席。到先由曹丹桂氏。述開會辭後。統籌農場組長就議長席。說明陳情主旨。及內容。並強調吾等意向若不能貫徹時。卽變更風梨之栽培。極力獎栽檳榔及甘藷等。以開拓生活路次入懇談。各委員熱心討論後。移入選舉陳情委員。共推左記六氏。午後五時散會。

▲員林郡代表陳情委員。劉水芋氏。黃天賜氏。曹盾氏。

▲彰化郡代表陳情委員。許燦氏。柯不羞氏。高萬進氏。

高山文社祭聖
續開吟會

臺北高山文社。舉辦第十五回祭聖。於龍山寺文昌祠。去二十五日午後三時。社長倪炳煌氏外各社員參酌。

蘭陽乘合罷業問題
重役會議善後策
決議全部解雇另行採用

既報蘭陽乘合自動車會社。司機者罷業問題。一時頓動各方面。經雖東郡警察。極力調停中。而會社重役六名。去二十四日午八時。在社長宅。開緊急會議。協議善後策。決左記三項。

一、不能應罷業者一邊。

二、罷業者等。于來。

三、全無豫告。敢行罷業者。其態度良無誠意。

以上三項。決定。即日復起。二十五日。對罷業者。全部。其退職。

實業大會
開宴懇親

臺中實業大會夢。加者大會。去二十四日午後五時半。在中公園。開於臺中公園。

海山聯合青團大會
研究發表音樂體育會等
體育會溪洲團勝

海山郡第五回聯合青年團。補愈赴現場。調查室內其他。

臺灣神社祭典當夜
本島人奉獻外江劇
臺北同志音樂會出演

新營
開送迎會

新營郡役所。

楊永泰氏
日本理解者

漢口二十五日電。既遇害之湖北省主席楊永泰氏。從來與黃郛。張群諸氏。共爲政學系日本系。對於國之軍事勢力。一時有事。帝國特要考慮。

國防糧食胚芽米
臺灣軍經理部計畫普及
發小册子依賴狀于全島

既記國家非常時。臺灣軍經理部。基于本來使命。欲培養國防資源起見。爲等擬。各軍隊關係者。各部隊長。各都守。各警察官。各官衙及公學校。各等門學校。各中。其他。

東港新閭庄
民風作興發會

東港郡。

三友炭礦爆發
卽死七名

海山郡鹿草庄大湖字圳子頭坑百二番地。三友炭礦所有炭礦。深度千尺之處。去二十四日午前一時。突然瓦斯爆發。作業中之同社人。洞子山頂脚人。林添旺。桃園郡龜山庄後抗大正間人。廖乞。同熊萬來。賴發。文山郡深坑庄南港人。林混。同社深福坑道第七名。卽死。海山郡役所警察課報。有大庭警部

憤情婦嫁人
入新娘房
行凶後自殺

臺隆市堀川町三十六番地。陳其石之弟陳其處。去二十四日。娶妻。翌二十五日午前七時。五十分。突有一本島人。稱臺灣電力會社巡視員。欲檢查電燈數。竟入新娘房。出大型牛林刀。刺傷新娘之腰部。其他後。反刀刺自己。喉部自殺。當局接報。馳到現場。驗證。其人爲新竹市南門。楊播樹。年二十八。原因爲楊。前與該女有關係。憤悔其嫁他人。遂出此舉。又附近住。民聞知。乞駭聞。一時大呈混雜云。

生活改善會講演會
臺北市北區生活改善會。

訂二十六七兩日。在蓬萊公學校講堂。開講演會。臺灣軍司令部。陸軍部。參謀。高等法院。檢察局。臺北市役所。臺北州廳。臺北地方法院。臺北警察。臺北憲兵隊。臺北稅關。臺北郵便局。臺北電信局。臺北電話局。臺北專賣局。臺北專賣支局。臺北專賣出張所。臺北專賣支所。臺北專賣分所。臺北專賣出張所。臺北專賣支所。臺北專賣分所。臺北專賣出張所。臺北專賣支所。臺北專賣分所

（京城發行）（明治四十一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十一年十月二十七日　臺灣日日新報　（夕刊共六頁）　第一万三千百四十二號

臺灣日日新報

日本經濟の特殊性と統制

秋の藝文展望

三大政黨の新陣容

日支親和の基調

抗日民族統一戰線の渦中より

支那を座談會

貴族院議員方

皇室と支那

抗日民族統一戰線の渦中より

增稅案と資本家大衆

支那の持つ抗日的の頑強性解剖

我國と支那通の權威を網羅し

出版と時代相

支那の持つ抗日的の頑強性解剖

我國と支那通の權威を網羅し

增稅案と資本家大衆

出版と時代相

皇室と支那

抗日民族統一戰線の渦中より

貴族院議員方

日支親和の基調

日本經濟の特殊性と統制

秋の藝文展望

三大政黨の新陣容

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

本紙一部金拾錢・一ヶ月前金四圓八十錢・三ヶ月同金拾四圓四十錢・半年同金貳拾八圓・壹年同金五拾六圓・廣告料特別第四頁一行一回金壹圓・同第一頁一行一回金貳圓・同第二頁一行一回金壹圓五拾錢・定價表進呈・廣告料金前拂・臺灣日日新報社・臺北市榮町一丁目一番地・電話代表二三八〇番・編輯用二三八〇五番・臺灣日日新報社臺北支局・臺北市榮町一丁目一番地・電話二三八〇五番・臺灣日日新報社臺中支局・臺中市末廣町二丁目一番地・電話臺中一〇番・臺灣日日新報社臺南支局・臺南市末廣町二丁目一番地・電話臺南一〇番・臺灣日日新報社高雄出張所・高雄市新濱町一番地・電話高雄一〇番・臺灣日日新報社花蓮港出張所・花蓮港街北二番・電話花蓮港一〇番・臺灣日日新報社澎湖出張所・馬公街六番地・電話馬公一〇番・臺灣日日新報社基隆出張所・基隆市仁愛路一番地・電話基隆一〇番・臺灣日日新報社屏東出張所・屏東市中正路一番地・電話屏東一〇番・臺灣日日新報社臺東出張所・臺東街新生町一番地・電話臺東一〇番・臺灣日日新報社花蓮港出張所・花蓮港街北二番・電話花蓮港一〇番・臺灣日日新報社澎湖出張所・馬公街六番地・電話馬公一〇番・臺灣日日新報社基隆出張所・基隆市仁愛路一番地・電話基隆一〇番・臺灣日日新報社屏東出張所・屏東市中正路一番地・電話屏東一〇番・臺灣日日新報社臺東出張所・臺東街新生町一番地・電話臺東一〇番

改正臺北市全圖　定價金壹圓　臺灣日日新報社商事課

北投タイル　土方成美

我が國の社會の特殊性　組織の特殊性　經濟問題　が日本的性格を要請する。この立場から博士は稅制案の矛盾を解剖する。

鳥人獨逸記鈔　小島政二郎

わが叔父わが叔母　吉野信次

やくざ無駄話　寛

銃後しくじり話　高間惣七

癩者の復活　中村光夫

先代左團次と忠治の妾　鈴木享

危機行狀記　長田幹彥

女の世界　森田たま

定價五十錢・文藝春秋社

文藝春秋　創刊十五周年記念大懸賞募集！　近日本紙上に！

寬池菊・籠屠の話

俳句

山の秋・長谷川かな女

秋の日・吉田冬葉

ますゐの貝・松瀨青々

世界文化ニュース

オリムピックとナチス・渡邊均

鐵道小說

◆高木卓

芥川賞の候補作品として在つた新人の中にて新史的の本格的歷史小說の希望の光明だ

◆金子大都

◆島田宮澤

◆山川均

◆伊藤好雄

◆戶坂潤

◆三宅正一

◆大山郁夫

◆西尾末廣

◆松山常次郎

◆永井柳太郎

◆鵜澤總明

◆小泉又次郎

◆川崎卓吉

◆中野正剛

◆高木陸郎

◆木村增太郎

◆竹內夏積

◆富士・箱根・寸感・吉川英治

◆南九州點點・ささきふさ

◆十和田湖・菊池寬

◆雲仙へ行つた話・吉屋信子

◆大藏公望・風見章・佐藤安之助・林久治郎

◆支那の持つ抗日的の頑強性解剖

◆我國と支那通の權威を網羅し

◆出版と時代相

◆增稅案と資本家大衆

◆皇室と支那を座談會

◆抗日民族統一戰線の渦中より

◆貴族院議員方

◆日支親和の基調

◆日本經濟の特殊性と統制

◆秋の藝文展望

◆三大政黨の新陣容

◆臺灣日日新報

◆臺灣日日新報

◆臺灣日日新報

（第三種郵便物認可）　第一万三千百四十二號　臺灣日日新報

新稅制と農村の負擔問題
臺灣の農村は事情が違ふ

一

現下の非常時局に際會すべく先般來大藏省に於て練つて居る稅制改革案は國庫の歲入を計る爲め增稅を爲すに就ても、例へば個人所得稅には重點を置くといふ所謂累進稅率を加味し、また法人所得の負擔を輕減することを目標として居るので、先に齋藤內閣が主として都市方面に於て多大の活力を喚起せしめた所謂農村自力更生の事が、今回當田內閣に到達せんとする趣旨が表徵に就ては部分々々に相當の反對論も出るものとは想像されるが、特に最近政府に於ては此の案に對し「準戰時體制」と銘打ち出した樣な事情もあり、又國民も既に或る程度の覺悟の肚を決めて居るところであるから、以上二點の形勢によるが先づ以て其の實現性は相當有るものと觀て不可にあらざらん。

二

地方に於ける稅負擔の輕減が今回の稅制改革案の重要なる目標の一である事は勿論であるが、之に就て同改革案の立案者たる大藏內務當局方面の說明に據れば地租附加稅の廢止は勿論、改革後の農民の稅收入は五千萬圓の外に今回新たに國稅となる家屋稅收入六千五百萬圓と營業收益稅收入八千萬圓の外に、地租及び新たに設定せらるる地方財政調整交付金二億四千五百萬圓を中央から農村へ廻すべくなるので併せて三億五千五百萬圓に上り現行の地方稅收入に比して八千五百萬圓の增收となるべく又市町村に於ては改革後の稅收入一億六千萬圓の外に、地租及び新たに國稅となる家屋稅收入六千五百萬圓と營業收益稅收入八千萬圓の外に、今回

現在及將來への臺灣産業經濟界（下）

全島實業大會席上での

田端殖産局長挨拶

水産　次に四面海を環せる我が日本の漁業は五千餘哩の進歩を示し今や世界に冠たる發展にありますが臺灣に於ても水産業者の活動範圍は著しく擴張され特に南支方面に於ける活躍は目覺しいものがあるのでありますが地理的經濟的に同地方と臺灣とは不分の關係にあります。從來水産業に於きましても此に一段の發展を要するものと信ずるのであります。此の意味に於きまして本島漁業の活潑化を圖り有能なる漁夫を養成することは將來本島水産業の發展に最も緊要なことであります。

鑛業　又我下の國際情勢より見て鑛物資源の開發は益々其の必要を通感せらるるに至りました。就中燃料國策に於ても亦我國下の石炭に於ても亦我國の重要性に鑑み鑛業の助成に於ても亦我國の重要性に鑑み鑛業の助成に於ても亦我國の重要性に鑑み鑛業の助成